

No. 3

ふくおか【Good】農業人100

主な農産物／米、麦、大豆、露地野菜（ブロッコリー・キャベツ）

寺島 康文さん (42歳)

(営農地／福津市須多田)

地域の協力で規模拡大

《就農のきっかけ》

子どもを地元で育てたい!

「大学(農学部)卒業時は、就農しようとは思っていませんでした。しかし、勤めが石油卸売販売業で転勤が多く、職場の先輩は単身赴任などで家族バラバラの生活をしていましたので、やっぱり子どもを地元で育てたい、家族一緒に生活したい、そう思って帰ってきました。兄が就農していませんでしたし、農業の基盤は父がつくっていてくれましたので、そのまま引き継ごうと思いました。」

寺島さんは、このような思いから、10年間のサラリーマン生活に終止符を打ち、就農する決意をしました。

《これまでの過程》

地域の方々の協力があって、今の自分がいます

「就農当時、主体はブロイラー3万羽の畜産農家、それに米が6haとキャベツが1haだったんです。しかし、鳥インフルエンザの問題などもあり、就農2年目でブロイラーをやめ、露地野菜と米主体の経営に転換しました。」経営転換をして以降、次々に農地を集積、規模拡大をされた寺島さんですが、「ここまでこれたのは、地域の方々のおかげです。皆さんの協力があって、今の自分がいます。」と話されました。

また、「自分が就農したとき、今のような情勢は考えられませんでした。水田農業は10ha作れば十分と思っていましたし、担い手もまだ残っていると思っていました。」とも話されました。

そして、規模拡大にともない、労働力を確保するため、平成21年から国庫事業を活用して雇用を導入、さらに、責任ある経営体の確立と雇用環境整備のために、平成23年からは、福岡県の事業を活用し、専門家の支援を受け法人化に向けての検討を開始、平成24年7月に法人登記を完了、「株式会社みずほファーム」を発足させました。



プロフィール

- 家族構成／父、母、本人、妻、子ども(3人)
- 前職／石油卸売販売業
- 営農年数／約8年
- 従業員数／1名
- 耕作(経営)面積／経営面積(28ha)、耕作面積(51ha)
- 販路／JA共販

《これからの展望》

責任ある経営体になりたい

責任ある経営体になりたいです。目標は、経営面積50ha。あと、従業員を3人まで増やします。雇用にお金を惜しまないこと。従業員が、きちんとした生活するためには、サラリーマン並みの給料は必要ですね。それが払える経営体になりたいです。自分や家族の報酬はある程度あればいい。残りは従業員や地域に還元したいです。従業員に対しても、地域に対しても、責任ある経営体にならないと、事業はおしまいです。



Good 成功のためのポイント

成功するために一番必要なのは、地域のために一生懸命頑張ることです。たとえば、私の場合、地域の行事や消防、農協青年部の活動などにきちんと出席しています。もちろん、農業を頑張ることも。ただ、水田農業(米・麦・大豆)への新規参入は無理だと思います。広大な農地や大型農業機械等が必要ですから…。新規参入だと、かなりの投資が必要となります。新規参入であれば、野菜がいいと思います。